

CGニュースPlus

公立中高一貫校対策専用情報誌CGニュース・プラス

速報

県内公立中高一貫校 志願状況

第22号

発行中萬学院広報室 **2013.1.16**

県立中等教育2校、市立南高校附属中学の2013年度志願状況が公表されました。

県立相模原は昨年度より減少、平塚は若干の増加です。開校2年目で動向が注目されていた市立南附属中は174名減少しましたが、約10倍の高倍率です。

倍率の推移	平塚中等教育		相模原中等教育		南高校附属中学	
	男子80名	女子80名	男子80名	女子80名	男子80名	女子80名
志願者	407	488	703	791	686	907
2012年度 <2011年度> (2010年度)	400 <395> (357)	481 <473> (436)	754 <648> (683)	811 <829> (802)	815 <815> (788) <small>※学区外人数は内数</small>	952 <952> (925) <small>学区外24</small>
志願倍率	5.09	6.10	8.79	9.89	8.58	11.34
2012年度 <2011年度> (2010年度)	5.00 <4.93> (4.46)	6.01 <5.91> (5.45)	9.43 <8.08> (8.53)	10.14 <10.36> (10.03)	10.19	11.90
志願後の動き	平塚中等教育		相模原中等教育		南高校附属中学	
	男子80名	女子80名	男子80名	女子80名	男子80名	女子80名
2012年度 欠席・取り消し <2011年度> (2010年度)	5 <10> (3)	7 <15> (5)	33 <26> (27)	27 <28> (36)	26 うち学区外 4	45 うち学区外 2
2012年度受検者 <2011年度> (2010年度)	395 <385> (354)	474 <458> (431)	721 <622> (656)	784 <801> (766)	789 うち学区外 34	907 うち学区外 22
2012年度競争率 <2011年度> (2010年度)	4.94 <4.81> (4.43)	5.93 <5.73> (5.39)	9.01 <7.78> (8.20)	9.80 <10.01> (9.58)	9.86 合格78 うち学区外 3	11.34 合格82 うち学区外 3

※受検者…志願後、取り消しや欠席をせず適性検査・グループ活動を受検した人数。グループ活動受検後の取り消しは非公表のため、実質倍率として扱います

★…南高校附属中は1次選考で男女各70名を選考し、2次選考で20名を適性検査得点上位者から決定します。競争率は便宜上80名定員でそれぞれ算出しています。実合格者に対する競争率は男子10.12倍、女子11.06倍となります

小6生3,982名が志願

県内3校の公立中高一貫校に出願したのは、昨年度4,213名から231名減った3,982名でした。このうち女子は55%、2,186名です。

学校基本調査による県内小学6年生数は79,856名、志願者数は4.98%となります。ちなみに昨年は79,698名に対し5.28%でした。

学校別では市立南附属の1,593名を筆頭に相模原1,494名、平塚895名となりました。女子の比率が最も高いのは市立南附属で57%、次いで平塚が55%、相模原が53%です。

2年目市立南附属も高倍率

開校2年目は倍率が下がる傾向にあり動向が注目されていた市立南附属。志願倍率は9.96倍と10倍に迫る高倍率となりました。これは県立中等教育の2年目(2010年度)と比べてもきわめて高い志願倍率です(左表参照)。特に女子は907名と現時点では最も狭き門となっています。

実倍率は変わる

今年も3校とも高倍率となりましたが、実際の倍率はここから下がっていきます。左の表にあるように、志願はしたけれど受検をしない、あるいは志願したけれど取り消す受検生がいるからです。特に相模原・南附属は多く欠席・取り消しが発生しさらに具体的な人数は非公表ですが、合格発表後の辞退による繰り上げ合格も発生します。これらの多くは私立中学へ合格したため欠席、辞退をするというものです。

本番まで2週間あまり。悔いのない受検となるよう、職員一同最後まで応援します。

入試応援サイト公開中!

www.chuman.co.jp

伝統と革新 since 1954

中萬学院グループ

